

2020年4月29日付 韓国環境部プレスリリース

ASF 拡散防止、死亡野生イノシシ一斉搜索

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do;jsessionid=-pvsNRgOMT1Q0XDpQE9mZu8p.mehome1?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1368520&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部(長官ジョミョンレ)は4月9日から4月28日まで国防部など関係機関と合同で死亡野生イノシシ一斉搜索を実施した結果、死亡野生イノシシ 155 件を発見・除去したと明らかにした。

これまで、死亡野生イノシシ搜索は発生地点周辺地域を中心になされていたが、今回は搜索が不十分だった山岳地帯などを対象に民間制限線南と北側地域で分けて実施された。

一斉搜索期間(18日)間は、1日平均 336 人の人員が民間制限線内/外地域に配置され、発見された死亡野生イノシシ 155 頭中 32 頭が ASF 陽性と確認された。

先に、4月9日から4月17日まで9日間は民間制限線南地域 38 の邑面(ウプミョン) 165 の里(リ)を対象に、1日平均 291 人の人員を投じて搜索を実施した結果、57 頭の死亡野生イノシシを発見し、うち 13 頭が陽性と確認された。

次に4月20日から4月28日まで9日間は民間制限線北側地域 7 個の市・郡と近隣地域に、1日平均 381 人を投じて 98 頭の死亡野生イノシシを発見し、うち 19 頭が陽性と確認された。

特に、搜索や住民の通報等を通じた死亡野生イノシシ発見が少なく、感染有無を確認しにくかった漣川郡(ヨンチョングン) 峯山面(ミサンミョン) および新西面(シンソミョン) 一部、華川郡(ファチョングン) 史内面(サネミョン) および下南面(ハナムミョン) 一部、楊口郡(ヤンググン) 楊口邑(ヤングウプ)・方山面(パンサンミョン) 地域では、今回の一斉搜索期間に人員を集中的に配置したものの、死亡野生イノシシはほとんど発見されなかった。

また、華川郡(ファチョングン) 史内面(サネミョン) および下南面(ハナムミョン) で発見された 4 頭も全て陰性と確認され、同地域には ASF ウイルスが伝播していない、または感染が広がっていないことが分かった。

環境部は野生イノシシにおける ASF が発生した 2019 年 10 月以降、発生地域に対する死亡野生イノシシの搜索を継続し、今まで 1,166 件の死亡野生イノシシを発見し、除去した。

5 月からは漣川郡（ヨンチョンゲン）、華川郡（ファチョンゲン）と隣接した東豆川市（トンドウチョンシ）加平郡（カピョングン）も搜索区域に含ませるなど隣接地域での拡散兆候を早期に把握できるように搜索を強化していく計画である。

ホン・ジョンギ環境部次官(ASF 中央事故収拾本部副本部長)は「今回の死亡野生イノシシ一斉搜索は、これまで搜索が不十分だった地域に対し、ウイルスの感染状態を一部確認して感染源になる可能性のある死亡野生イノシシを除去したことに意味がある。海外の例をからも、死亡野生イノシシの搜索および迅速な除去が ASF ウイルス拡散を防ぐ措置であることがわかる。私たちもより細かい搜索を実施し、ウイルスの拡散阻止に全力をつくす」と語った。

4 月 22 日～4 月 28 日は、野生イノシシ ASF 陽性事例が 30 件増加した。

これで 2019 年 10 月 3 日漣川（ヨンチョン）非武装地帯で初めて発生して以来、現在まで合計 580 件*発生した。

* 坡州（パジュ）96 件、漣川（ヨンチョン）228 件、鉄原（チョルウォン）29 件、華川（ファチョン）219 件、楊口（ヤング）3 件、高城（コソン）3 件、抱川（ポチョン）2 件

同期間検査した検体は合計 299 件で、死亡野生イノシシの検体 176 件と捕獲個体の検体 123 件であり、陽性となった 30 件は全て死亡野生イノシシの検体であった。

以上